

令和5年5月28日
今週のベストショット



青松園A 塩浜ジャガーズ 対 和白新町パイレーツ
一回裏、新人・和白新町パイレーツ一番の山本選手が先頭打者HRを放ち先制。
写真：奈多フェニックス 實延 新伍

奈多グランド 雁の巣ライナーズ打線爆発全員安打で圧巻勝利！！

奈多クラブ (3敗) 0000 0 今林賢人●、吉田、西宮—安河内

雁の巣ライナーズ (2勝1敗) 14035 22 柴田○—有村

HR：有村(雁の巣) 2BH：今林、正内、中内2、太田2、明瀬、池内(雁の巣)

一回表奈多クラブの攻撃は三者凡退に終わり、その裏雁の巣ライナーズの攻撃は相手投手の乱調もあり11安打で大量14得点のビッグイニングとなる。二回表、点差を詰めた奈多クラブだが、いい当たりが続くも野手の正面へ打球が吸い込まれる。二回裏ライナーズの攻撃、追加点を狙うも奈多クラブの交代した投手に苦戦し0点に終わる。三回表、そろそろ1点が欲しい奈多クラブだが、ライナーズ柴田投手の好投で三者凡退に抑えられる。三回裏、四回裏のライナーズの攻撃は、立て続けにビッグイニングとなり、コールドゲームにて決着。雁の巣ライナーズの打線が爆発した試合だった。

(記事・写真：ソルトベイスターズ 坂井)



奈多クラブ VS 雁ノ巣ライナーズ。



奈多クラブ先発の今林賢人投手



完封勝ちした雁の巣ライナーズ柴田投手



一回裏、ライナーズ二番今林颯汰選手の先制タイムリー！

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計	
奈多クラブ	0	0	0	0					
ライナーズ	14	0	3	5					
TIME	:							NEXT	-

雁ノ巣ライナーズ打線爆発全員安打で圧巻勝利！！

青松園B チャンスを着実に活かしたホーネットスの快勝

三苫ホーネットス（1勝1敗）0 2 1 1 4 2 1 0 平川○、矢野一広木

奈多サンデーズ（1勝1敗）2 0 0 0 2 0 4 塚本●一川原

HR：堺、佐藤（三苫ホ）宮口（奈多サ） 3BH：堺（三苫ホ）

2BH：西村、広木（三苫ホ）近藤、神田（奈多サ） 盗塁：川原2、井手（三苫ホ）

初回三苫ホーネットスは好機を作るも無得点。その裏奈多サンデーズは四番近藤選手の適時打などで幸先良く2点先制して攻撃終了。二回表は再び好機を作ったホーネットスは九番川原選手の適時打などでまず同点に追い付く。三回表、四回表とさらに1点ずつ加点したホーネットス。五回表先頭の三番西村選手が右前打を放ったところを右翼手が後逸してしまいさらに一気に本塁まで帰ってきて追加点。続く四番堺選手が豪快な中堅越えの本塁打でさらに1点追加。その後も攻撃の手を緩めずこの回計4点を加点。何とか流れを引き戻したいサンデーズは五回裏先頭の二番山崎選手が安打で出塁して、続く三番宮口選手が2ランHRを放ち食い下がる意地を見せる。しかし六回表ホーネットスは得点を挙げ、流れを渡さない。最終回のサンデーズは得点出来ず試合終了となった。勝ったホーネットスは自分達で作ったり相手にもらった好機を問わずチーム全体に見られる走塁意識の高さを活かして常に試合を優位に進めてさすがの試合巧者ぶりを発揮した快勝だった。一方敗れたサンデーズは先制した所までは良かったが、その後は好機を作るものの、あと一本が出ず得点をなかなかあげられず完全に試合の流れを持っていかれてしまった。走力のある選手が出塁した所で後続が簡単に初球を打ち上げてしまった場面もあり、そこは反省材料になりそうな試合だった。（記事：新町ウィズ 野中 一史、写真：大久保 浩）



三苫ホーネットス先発の平川投手。



奈多サンデーズ塚本投手、サンデーズは継投が課題か？



万を持って登板、三苫ホーネットス二番手の矢野投手。



三回表、本塁クロスプレーもセーフ。



五回表、ライトへ痛烈な当たりを放つ三苦ホーネッツ西村選手。



シャープなバッティング奈多サンデーズ土田選手。



レフトへホームラン放った奈多サンデーズ宮口選手。



今のストライク？



三苦ホーネッツの最強代打 隈崎選手。

青松園A 三回裏のビッグイニングでパイレーツが勝利！！

塩浜ジャガーズ (1勝1敗) 00032 5 立石●ー猪野

和白新町パイレーツ (2勝1敗1分) 10511 8 岩吉○ー朝野

HR ; 山本 (新町パ) 一ノ瀬 (塩浜ジ) 3BH : 道喜 (塩浜ジ)

2BH : 猪野 (塩浜ジ) 今泉、川原 (新町パ)

昨年7位の和白新町パイレーツと8位の塩浜ジャガーズだけに気になるのは新戦力の存在。両チームの投手は昨年同様、立石投手と岩吉投手だったがパイレーツの先頭打者は新戦力の山本選手。その新戦力のパイレーツ一番山本選手が初回に先頭打者HRを放ちパイレーツが先制すると、三回には4連打で5点を追加し三回終了時点で6-0とパイレーツが大差をつけた。三回までパイレーツ岩吉投手に無得点に抑えられていたジャガーズは四回表、一ノ瀬選手の2ランを含む3本の長打で3点を返し終盤に望みをつなげた。ジャガーズは五回にも立石選手のタイムリーで2点を返したがその裏のパイレーツの攻撃中に時間切れとなりパイレーツが逃げ切る形となった。最後まで気の抜けない好ゲームだった。

(記事・写真 : 奈多フェニックス 實延 新伍)



和白新町パイレーツ先発の岩吉投手。



塩浜ジャガーズ先発の立石投手。



先頭打者HRのパイレーツ山本選手。



四回表、2ランHRを放つジャガーズ一ノ瀬選手。



四回裏、左中間に鋭い中を放つパイレーツ今泉選手。



五回表、鮮やかな中前打を放ったジャガーズ藤井選手。



五回表、巧みに右前打を放つジャガーズ立石選手。



パイレーツの名手、白岩選手。